「2027年国際園芸博覧会駐車場予約システム運営業務委託」 のプロポーザルに係る提案書評価基準

表1の評価項目及び配点ウェイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の着目点は表2のとおりとします。

表1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績 (30点)	管理技術者	同種又は類似の業務実績の内容	10		
	担当技術者	同種又は類似の業務実績の内容	10		
	事業者	同種又は類似の業務実績の内容	10		
提案内容 (90点)	【1】本博覧会の特性や課題、懸念事項等を踏まえ、本業務の実施方針、実施体制、スケジュールについて、以下のフェーズごとに具体的な提案がされているか ・ 予約システム構築時 ・ 予約システム受入テスト時 ・ 予約システム運用期間中		30		
	【2】本業務の特性を踏まえ、既存予約システムを最大限活用した効率的・効果的な業務運営を実施するうえで、以下2項目に対する具体的な提案がされているか ・ 既存予約システムの実績及び本業務への活用方法とその効果 ・ 業務の効率性及びコスト縮減策		20		
	【3】駐車場予約システム運営を実施するうえでの課題や懸念事項を理解したうえで、駐車場運営業務の実績を踏まえ、以下4項目に対する具体的な対策等の提案がされているか ・ 想定されるリスクやトラブルとそれらの対応方法 ・ 予約受付、予約管理、入場管理の具体的な運用方法や予約に関する問い合わせ及び入庫トラブル発生時の組織体制 ・ 駐車場料金決済業務における具体方針 ・ 入庫設備機器等の点検方法、保守等に係る体制		40		
ヒアリング (40点)	理解力や専門技術力があるか		20		
	取り組み意欲が感じられるか		20		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定の取得（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）、又は女性の職業生活における活躍の推		1		

	進に関する法律に基づく認定の取得（えるぼし）			
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%を達成している（従業員 40 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40 人未満）	1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得	1		
業務遂行能力 (10 点)	事業経費の積算は妥当で、費用対効果が高いものとなっているか。	10		
評価点の合計 (176 点)				

評価方法

- 1 業務実績及び業務遂行能力は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- 2 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- 3 評価点については、次のように配点を行う。
 - (1) 業務実績
配点 10 点 A=10 点、C=6 点、E=2 点
 - (2) 提案内容
【1】配点 30 点 A=30 点、B=24 点、C=18 点、D=12 点、E=6 点
【2】配点 20 点 A=20 点、B=16 点、C=12 点、D=8 点、E=4 点
【3】配点 40 点 A=40 点、B=32 点、C=24 点、D=16 点、E=8 点
 - (3) ヒアリング
配点 20 点 A=20 点、B=16 点、C=12 点、D=8 点、E=4 点
 - (4) 業務遂行能力
配点 10 点 A=10 点、C=6 点、E=2 点
- 4 ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- 5 提案内容とヒアリングの評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。
- 6 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- 7 業務実績、ワーク・ライフ・バランス及び業務遂行能力に関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- 8 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- 9 業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等及び業務遂行能力の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- 10 評価点は、評価委員1名につき満点で176点とし、評価委員全員の合計で176点×5名=880点で満点とする。
- 11 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当して

いることとする。

- 12 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- 13 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- 14 ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC (20 点× 3 / 5 =12 点) とする。
- 15 提案された見積金額を業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の点数の合計点で除した数値を1点あたりの費用金額とし、これが少ないものをより優れているものとする。

見積金額÷(業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の合計点)=1点あたりの費用金額

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実績	管理技術者	同種又は類似の業務の実績が十分か	本業務に活かせる実績が十分にある	/	本業務に活かせる実績がある	/	本業務に活かせる実績がない
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績が十分か	本業務に活かせる実績が十分にある	/	本業務に活かせる実績がある	/	本業務に活かせる実績がない
	事業者	同種又は類似の業務の実績が十分か	2005年4月以降において、国際大会、国際博覧会等の国際イベントにおける駐車場運営業務の実績を有する	/	2005年4月以降において、地方博覧会、全国都市緑化フェア等の規模の国内イベントにおける駐車場運営業務の実績を有する	/	AまたはCに該当しない
提案内容	【1】本博覧会の特性や課題、懸念事項等を踏まえ、本業務の実施方針、実施体制、スケジュールについて、以下のフェーズごとに具体的な提案がされているか ・予約システム構築時 ・予約システム受入テスト時 ・予約システム運用期間中		十分な理解に基づいた具体的で実現性の高い提案である	一定程度理解に基づいた妥当性のある提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい妥当性に欠ける提案である	理解が乏しい妥当性がない提案である
	【2】本業務の特性を踏まえ、既存予約システムを最大限活用した効率的・効果的な業務運営を実施するうえで、以下2項目に対する具体的な提案がされているか ・既存予約システムの実績及び本業務への活用方法とその効果 ・業務の効率性及びコスト削減策		十分な理解に基づいた具体的で実現性の高い提案である	一定程度理解に基づいた妥当性のある提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい妥当性に欠ける提案である	理解が乏しい妥当性がない提案である
	【3】駐車場予約システム運営を実施するうえでの課題や懸念事項を理解したうえで、駐車場運営業務の実績を踏まえ、以下4項目に対する具体的な対策等の提案がされているか ・想定されるリスクやトラブルとそれらの対応方法 ・予約受付、予約管理、入場管理の具体的な運用方法や予約に関する問い合わせ及び入庫トラブル発生時の組織体制 ・駐車場料金決済業務における具体方針 ・入庫設備機器等の点検方法、保守等に係る体制		十分な理解に基づいた具体的で実現性の高い提案である	一定程度理解に基づいた妥当性のある提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい妥当性に欠ける提案である	理解が乏しい妥当性がない提案である

ヒアリング	理解力や専門技術力があるか	特に優れている	優れている	どちらとも いえない	あまり妥当 ではない	妥当ではな い
	取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が 認められる	意欲が認め られる	どちらとも いえない	あまり意欲 が認められ ない	意欲が認め られない
業務遂行能力	1点あたりの費用金額	業務遂行の 費用対効果 が1番目に 高いもの	/	業務遂行の 費用対効果 が2番目に 高いもの	/	業務遂行の 費用対効果 が3番目以 下のもの